



第52回千葉県消防操法大会 魅せた！消防魂

千葉県消防操法大会は 7 月 23 日、千葉市の千葉県消防学校で開催されました。
印西市からは印旛支部消防操法大会で優勝した第 1 分団第 1 部(木下)が支部代表として出場。
洗練された消防技術を魅せ、優良賞(3 位)に輝きました。

技術とチームワークで地域防災体制を強化

消防操法は、実際の火災を想定して消防車または小型ポンプにホースをつなぎ、火点(的)を倒すまでの時間と正確な操作や規律を競います。

火災現場では、自分の安全を確保しながらより速く、より正確に消火する技術が求められるため、消防団員には欠かせない消火訓練です。

「操法大会」は消防技術の基本動作を実演し、訓練の成果を発表する場として開催されます。出場した選手は長期にわたり厳しい訓練を重ねます。この訓練を共にすることで形成されるチームワークと磨き上げた技術が地域の防災体制の強化にもつながります。

印旛支部消防操法大会

印旛支部消防操法大会は 7 月 3 日に開催され、市の大会で優勝したチームが出場。結果「ポンプ車の部」で第 1 分団第 1 部(木下)が優勝、「小型ポンプの部」で第 8 分団第 1 部(瀬戸)が 3 位となりました。

自分のまちは、自分で守る

消防団は市町村の消防機関です。団を構成する消防団員は常勤の消防職員とは異なり、普段は仕事を持つ社会人や学生などです。しかし火災や災害発生時には、「自分のまちは、自分で守る」という精神のもと、地域の防災リーダーとして火災・災害現場に出動し、消火活動などを行います。地域の地理や情報に詳しい消防団員は、地域の安心と安全のため、なくてはならない存在です。

どんな活動をしているの？

日ごろから訓練を重ねて災害時に備え、平常時も地域のためにさまざまな活動をしています。

災害時

消火活動

防災活動

避難誘導

平常時

防火啓発活動

消火・防災訓練

応急手当の指導



とれたて！シャリッとさわやか

いんざいの梨をPR

今年も梨の収穫期がやってきました。梨はいんざいの特産品であり、千葉県などが主催する「千葉なし味自慢コンテスト」でも毎年高い評価を得ています。そこで、いんざいの梨をもっと知っていただく、市内梨農家のみなさんがPRイベントを開催します。当日はいんざい君も参加して、採れたて梨の試食や直売を行います。



■ 9月2日(金)・午後5時～。
※雨天時は翌日に順延。
■ 千葉ニュータウン中央駅
駅前自由通路。
■ 農政課振興班(☎内線 375)。

昨年のPRイベントの様子

食べごろ 採れたてが味わえる

千葉県の梨は全国でも屈指の生産量を誇り、市内では泉、草深、武西地区を中心に盛んに生産されています。今の時期は、甘みが強くみずみずしい「幸水」が旬を迎え、8月下旬から9月中旬には、型が大きく程良い甘みと酸味のバランスが取れた「豊水」の時期となります。

市内の直販所に並ぶ梨は収穫直前まで日の光を浴びたもの。食べごろを採れたてで味わえるのも産地ならではの。新鮮な地元の味わいをご賞味ください。

組 合員一人ひとりが、いんざいの美味しい梨を食べてもらおうと生産に取り組んでいます。使用する肥料に気を配り、減農薬にも努力しながら一年を通して管理してきました。今年も愛情がいっぱい詰まった梨の実が収穫されています。ぜひ印西の梨を食べてみてください。

市内では「幸水」「豊水」以外にも「新高」「あきづき」「かおり」といった品種を生産しています。それぞれ食感や甘味、香りが違います。食べ比べるのも面白いですよ。



印西果樹園芸組合組合長
大塚 克利さん